

ヨコレイ山ワサビ 3000トン生産へ 東芽室に集荷場建設

2016年6月1日

【芽室】冷凍倉庫業、食品販売業の横浜冷凍（ヨコレイ、本社・横浜市）は1日、町内で大規模な山ワサビ（西洋ワサビ）の生産に取り組むことを発表し、芽室東工業団地内に山ワサビを集荷・選別する「ヨコレイ十勝ソーティングスポット（仮称）」を着工した。11月完成予定。同社グループの農業生産法人が5年後をめどに約3000トンを生産する目標で、主に加工食品メーカーに出荷する。



あいさつする吉川会長

新施設はヨコレイが出資する農業生産法人「ダイヤモンド十勝」（芽室町、大野和則代表）に一括貸与して運営させる。同法人は昨年町内で山ワサビの栽培に着手し、今年の作付面積は60ヘクタールで、収量は約1000トンを見込む。5年後をめどに約3000トンまで生産を拡大し、十勝での大規模生産を図る。

施設内では、秋に収穫した山ワサビの泥落としなどの一次加工を行った後、各メーカーへ出荷。端境期にはスイ

ートコーンやキャベツなどの受け入れも視野に入れる。

建設地は東芽室北2線の約1万200平方メートル。工場棟（平屋、延べ床面積1336平方メートル）に、事務所（平屋、同218平方メートル）などを併設する。土地購入費を含む事業費は約8億円。

新施設の周辺には、2棟の冷蔵・冷凍倉庫が稼働しており、今年8月には農産物専用の倉庫を兼ね備えた「十勝第三物流センター」の運用も開始する。3カ所の合計収容能力は道内最大規模の計6万1000トンに上る。

同社は1日、建設予定地で起工式を行った。吉川俊雄会長は式典後に取材に応じ、「山ワサビは国産志向が強まっており、十勝を一大産地にしたい。農業生産から選別、保管、配送まで一貫した仕組みを作る」と意気込みを語った。

麦「収穫始」8月に 豆類も生育遅れ 作況調査

2016年8月5日



8月に入り収穫が本格化した小麦畑（5日）

十勝総合振興局は5日、十勝管内の農作物生育状況（1日現在）を発表した。7月中旬以降の天候不順の影響で秋まき小麦や豆類で生育の遅れ幅が広がった。小麦の収穫始は8月にずれ込み、この10年間では最も遅くなった。

7月中旬から下旬に、オホーツク海高気圧からの冷たく湿った気流の影響で曇りの日が続き、前線の停滞でまとまった雨が降った。同月下旬の降水量は平年の約2倍、一方で日照時間は同9%しかなかった。

秋まき小麦は前回作況（7月15日現在）より5日遅い

「7日遅れ」。1日現在で収穫進捗（しんちょく）率は0.5%で、同5%を基準とする「収穫始」に至っていない。収穫始が8月になったのは2006年の8月3日以来で、この10年では最も遅いことになる。

生育の遅れで成熟が進まなかったことに加え、さらに7月下旬の天候不順で収穫を始められない圃（ほ）場があった。一部で報告されている穂発芽には「出ているとは聞いたが、どの程度かは分からない」とした。ただ3日以降は天候が回復して収穫が急ピッチで進んでおり、同振興局農務課は「適期に収穫が終わり、これ以上の影響が出ないように期待したい」と話した。

管内農作物の生育状況 十勝総合振興局発表					
8/1現在	区分	本年	平年比	評価	遅早
秋まき小麦	穂長	84.3cm	103%	平年並み	
	穂数	753.8本/㎡	109%	やや多い	遅7日
	穂長	9.3cm	101%	平年並み	
	収穫	0.5%	—	—	遅7日
ジャガイモ	茎長	63.9cm	92%	やや短い	遅1日
	茎数	3.7本/株	105%	平年並み	
	草丈	59.3cm	99%	平年並み	
ビート	葉数	25.5枚	102%	平年並み	遅1日
	根周	27.1cm	100%	平年並み	
	草丈	59.5cm	87%	短い	遅5日
大豆	葉数	9.5枚	95%	やや少ない	
	草丈	20.9cm	63%	短い	遅6日
小豆	葉数	7.3枚	85%	少ない	
	草丈	37.2cm	75%	短い	遅6日
金時	葉数	4.0枚	96%	平年並み	
	草丈	27.5cm	54%	短い	遅6日
手亡	葉数	6.7枚	88%	少ない	
	草丈	57.4cm	99%	平年並み	遅1日
飼料用トウモロコシ	2番草丈	205.8cm	83%	やや短い	遅5日
	葉数	14.4枚	95%	やや少ない	